

執筆者プロフィール

進藤令子（しんどう れいこ）国際平和協力研究員 第9期生

津田塾大学学芸学部国際関係学科卒、東京大学大学院「人間の安全保障」修士、ヨーク大学（カナダ）大学院政治学修士。2008年9月より、東京大学博士課程を休学し、アベリストウィス大学（イギリス）大学院国際政治学部博士課程に所属。その間、アムネスティ・インターナショナル日本支部にてインターン、ヨーク大学難民研究センター（Centre for Refugee Studies）にて研究助手、アベリストウィス大学で講師（パート・タイム）業務などに従事。2011年にはアベリストウィス大学を休学し、国際平和協力研究員として勤務。

田中極子（たなか きわこ）国際平和協力研究員 第10期生

津田塾大学学芸学部国際関係学科卒、英国サセックス大学大学院国際関係学修士、国際基督教大学行政学研究科博士後期課程在籍。在オランダ大使館化学兵器禁止条約班及び軍縮会議日本政府代表部専門調査員を経て、2011年9月より国際平和協力研究員として勤務。専門は、保護する責任や文民の保護等の規範概念に関わる問題のほか、保健分野における日本の貢献について考えている。

志茂雅子（しも まさこ）国際平和協力研究員 第10期生

東京大学教養学部国際関係論を卒業後、都市銀行勤務を経てイェール大学にて国際関係論の修士号を取得。UNHCRのインターンを経験し、2001年より日本政府国連代表部経済部にて専門調査員をつとめ、経済・開発関係の交渉の決議案交渉に携わる。その後ユニセフ（中国）、セーブ・ザ・チルドレン（日本及び中国）で、子ども保護、人道援助に携わる。2011年9月より国際平和協力研究員として勤務。

新野智子（にいの ともこ）国際平和協力研究員 第8期生

モントレー国際大学院大学国際政策修士課程修了。国連児童基金（UNICEF）ニューヨーク本部、ハイチ事務所、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）ウガンダ事務所、国連世界食糧計画（WFP）アフガニスタン事務所等で広報業務に従事。2010～2011年、国際平和協力研究員として在籍後、UNICEF パキスタン事務所にチーフ・レポート・オフィサーとして勤務。

安藤由香里（あんど う ゆかり）国際平和協力研究員 第6期生

英国ウォリック大学大学院法学研究科開発法専攻修士課程修了、名古屋大学国際開発研究科国際協力専攻博士後期課程退学。2001年国連フィジー選挙監視団（UNFEOM）選挙監視員、名古屋外国語大学現代国際学部アシスタントインストラクター、中央大学研究開発機構準研究員等を経て、2009年～2011年国際平和協力本部事務局研究員として勤務。研究員在任

中、日本政府スーダン総選挙監視団選挙監視員及び日本政府スーダン住民投票監視国際平和協力隊。現在、大阪大学勤務。